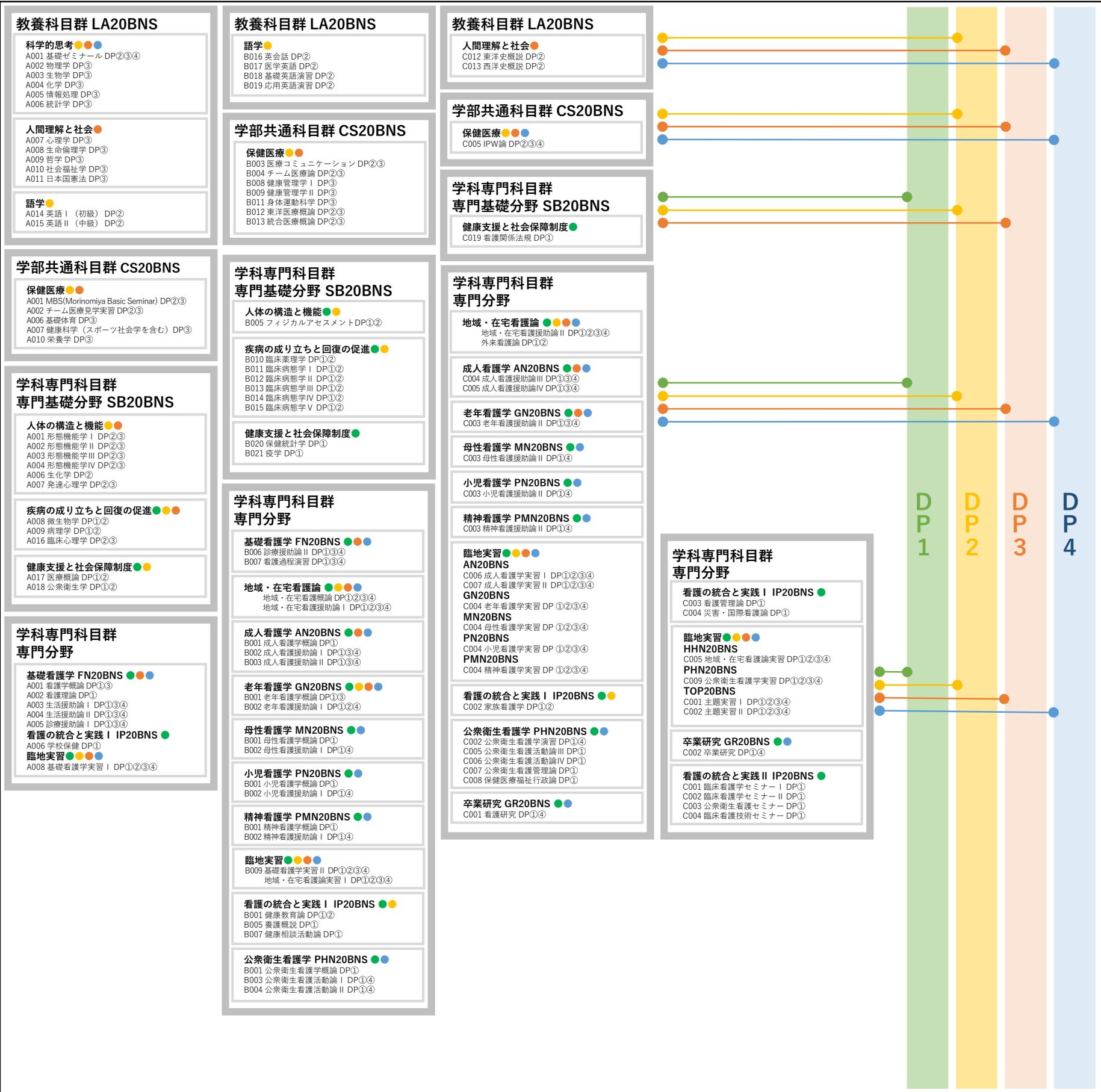


看護学部看護学科 カリキュラムマップ (2022年度以降入学生対応)

- 【DP1】 ● 精度の高い専門的知識と専門技術**
 ①看護の対象を理解することができる。 ②社会や保健・医療・福祉の動向をふまえ、専門性の高い知識を学修することができる。
 ③知識に裏づけられた確実で根拠のある技術を身につけることができる。
- 【DP2】 ● チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力**
 ①他者との相互理解に努め、コミュニケーション力を高めることができる。
 ②看護や他職種の専門性を理解し、人々のQOL向上のために連携することができる。
- 【DP3】 ● 豊かな人間力**
 ①”いのち”を尊ぶ真摯な姿勢をもつことができる。②豊かな感性と洞察力をもって、多様な人々を理解し共感できる。
 ③医療職としての倫理観を主体的に育むことができる。
- 【DP4】 ● 主体的問題解決能力**
 ①主体的に看護を探求し、自己の看護観をもつことができる。②自己の看護観や高度な専門性、他者との連携を統合した問題解決能力をもつことができる。③人々の個別性あるニーズを客観的にとらえ、「ヒューマンケアリング」を創造的に実践できる。

1年次	2年次	3年次	4年次	学位授与の方針
-----	-----	-----	-----	---------



■2024年度入学生対象 森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部 理学療法学科カリキュラムマップ

<p>ディプロマポリシー (DP：学位授与方針)</p>	<p>【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】</p> <p>●理学療法学科の方針 理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。</p> <p>●4つのディプロマ・ポリシー</p> <p>①精度の高い専門的知識と専門技術 地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。</p> <p>②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。</p> <p>③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。</p> <p>④主体的問題解決能力 理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。</p>
----------------------------------	---

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修14単位＋選択2単位以上		○	○	○
		物理学	1後	2				○	
		生物学	1前	2				○	
		化学	1前	2				○	
		情報処理	1前	2				○	○
		統計学	3前	2				○	○
	人間理解と社会	心理学	1前	2				○	
		生命倫理学	1前	2				○	
		哲学	1後	2				○	
		社会福祉学	1前	2				○	
		日本国憲法	1後	2				○	
		東洋史概説	3前	2				○	
	語学	西洋史概説	3前	2				○	
		英語Ⅰ（初級）	1前	2				○	○
		英語Ⅱ（中級）	1後	2				○	○
		英会話	2前	2				○	○
医学英語		2後	2			○	○		
基礎英語演習		2前	2			○	○		
共通科目群	保健医療	応用英語演習	2後	2			○	○	
		MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			○	○	○
		チーム医療見学実習	1前	1			○	○	○
		医療コミュニケーション	2前	1			○	○	○
		チーム医療論	2後	1			○	○	○
		IPW論	3前	1			○	○	○
		基礎体育	1前	1				○	○
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2				○	○
		健康管理学Ⅰ	2前	2				○	○
		健康管理学Ⅱ	2後	2				○	○
		栄養学	2後	2				○	
		身体運動科学	2後	2				○	
		東洋医療概論	2後	2				○	
統合医療概論	3前	2				○			

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法士の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専 門 基 礎 科 目	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	人体の構造演習Ⅰ(運動器)	1前	1	必 修 1 5 単 位	○	○	○	
		人体の構造演習Ⅱ(運動器)	1後	1		○	○	○	
		人体の構造Ⅰ(神経系)	1前	2		○	○	○	
		人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	1後	2		○	○	○	
		人体の構造実習	2後	1		○	○	○	○
		人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2		○	○	○	
		人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2		○	○	○	
		基礎運動学	1後	1		○	○		
		臨床運動学	2前	1		○	○		○
		運動学実習	1後	1		○	○		○
	臨床心理学	1後	1	○	○	○			
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復	リハビリテーション概論	1前	2	必 修 1 9 単 位 + 選 択 1 単 位	○	○	○	
		公衆衛生学	1後	2		○	○		
		生化学	2前	2		○			
		病理学	2前	2		○			
		臨床病態学Ⅰ	2前	2		○		○	
		臨床病態学Ⅱ	2後	2		○		○	
		臨床病態学Ⅲ	2後	2		○		○	
		整形外科学	2前	2		○		○	
小児科学(人間発達学)		2後	2	○			○		
精神医学	2前	2	○		○				

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針
理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法士の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
過程の促進	リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む)	2前	2		以上	○	○		
	チームリハビリテーション概論	2前	1				○	○	○
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		1			○	○	○
	スポーツ医学	3前		1			○	○	
	テーピング技術論	2後		1			○		
基礎理学療法学	医療関係法規論	1前	2		必修 6 単 位	○			
	理学療法触診法	3後	1			○			○
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1			○			○
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1			○			○
	基礎理学療法学実習	2通	1			○	○		○
理学療法管理	職場管理(教育を含む)	3後	1		必修 2 単 位		○	○	
	職業倫理	3後	1				○	○	
理学療法評価学	理学療法評価学総論	1後	1		必修 5 単 位	○			
	理学療法評価学各論	2前	2			○			
	臨床理学療法評価学(動作分析)	3前	1			○	○		
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			○	○		○
理学療法治療学	基礎日常生活活動学	1後	1		必修 2 0 単 位	○	○	○	
	基礎運動療法学総論	2前	1			○	○		○
	基礎運動療法学各論	2後	1			○	○		○
	物理療法学	1後	1			○	○		○
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			○	○		
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			○	○		
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			○	○		○
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			○	○		
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			○	○		
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			○	○		○
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			○	○		
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			○	○		
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			○	○		○
	発達障害系理学療法学	3前	1			○	○	○	
	義肢装具学	2後	2			○	○		
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			○	○		○

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法士の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
法 理 学 療 学	地域理学療法学	2後	2		必修 4 単 位	○		○	○
	生活環境論	2後	1			○		○	○
	老年期理学療法学	3後	1			○		○	○
総 合 領 域	理学療法臨床推論概論	2後		1	必修 5 単 位 + 選 択 1 単 位 以 上	○			○
	理学療法臨床推論演習	3前		1		○			○
	総合リハビリテーションIPW演習	3前	1			○	○	○	○
	理学療法特論Ⅰ	3後	1			○			○
	理学療法特論Ⅱ	4前	1			○			○
	理学療法特論Ⅲ	4後	2			○			○
	運動器系理学療法セミナー	4通		1		○			○
	神経系理学療法セミナー	4通		1		○			○
	内部障害系理学療法セミナー	4通		1		○			○
	地域理学療法セミナー	4通		1		○			○
	高齢期リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
	高齢期リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
	高齢期リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
	小児リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
	小児リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
	小児リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
	精神・心理リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
	精神・心理リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
	精神・心理リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
研 究 卒 業	卒業研究Ⅰ	3通	2		必修 4 単 位	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	4通	2			○	○	○	○
臨 床 実 習	臨床見学実習	1後	1		必修 2 1 単 位	○	○	○	○
	検査測定実習	2前	1			○	○	○	○
	臨床評価実習	3後	4			○	○	○	○
	地域理学療法実習	4前	1			○	○	○	○
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			○	○	○	○
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			○	○	○	○

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●理学療法学科の方針

理学療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（理学療法学）の学位が与えられます。これは理学療法士国家試験受験資格となります。チーム医療と科学性を持ちつつ人に優しい理学療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける理学療法士の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた理学療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う

高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

理学療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
卒業要件単位数					126				

■2024年度入学生対象 森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部 作業療法学科カリキュラムマップ

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●作業療法学科の方針

作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配次当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修12単位＋選択2単位以上		○	○	○	
		物理学	1後	2				○		
		生物学	1前	2				○		
		化学	1前	2				○		
		情報処理	1前	2				○		
		統計学	3後	2				○		
	人間理解と社会	心理学	1前	2					○	
		生命倫理学	1後	2					○	
		哲学	1後	2					○	
		社会福祉学	1後	2					○	
		日本国憲法	1後	2					○	
		東洋史概説	3前	2					○	
	語学	西洋史概説	3前	2					○	
		英語Ⅰ（初級）	1前	2				○		
		英語Ⅱ（中級）	1後	2				○		
		英会話	2前	2				○		
		医学英語	2後	2				○		
		基礎英語演習	2前	2				○		
共通科目群	保健医療	応用英語演習	2後	2			○			
		MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			○		○	
		チーム医療見学実習	1前	1			○		○	
		医療コミュニケーション	2前	1			○		○	
		チーム医療論	2後	1			○		○	
		IPW論	3前	1		○	○	○	○	
		基礎体育	1前	1				○		
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2				○		
		健康管理学Ⅰ	2前	2				○		
		健康管理学Ⅱ	2後	2				○		
		栄養学	2後	2				○		
		身体運動科学	2後	2				○		
		東洋医療概論	3前	2			○		○	
統合医療概論	3前	2			○		○			
達能及び心身の発達	人体の構造と機能	人体の構造演習Ⅰ（運動器）	1前	1	必修15単位		○	○	○	
		人体の構造演習Ⅱ（運動器）	1後	1			○	○	○	
		人体の構造Ⅰ（神経系）	1前	2			○	○		
		人体の構造Ⅱ（循環・内臓）	1後	2			○	○		
		人体の構造実習	2後	1			○	○	○	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	1前	2			○	○		
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	1後	2			○	○		
		基礎運動学	1後	2					○	
		臨床運動学	2前	2					○	○

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●作業療法学科の方針

作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専門基礎科目	リハビリテーション概論	1前	2		必修21単位+選択2単位以上	○	○	○	
	公衆衛生学	1後		2				○	
	生化学	2前		2					○
	病理学	2前	2					○	○
	臨床病態学Ⅰ	2前	2				○	○	
	臨床病態学Ⅱ	2後	2				○	○	
	臨床病態学Ⅲ	2後	2				○	○	
	整形外科学	2後	2				○	○	
	小児科学（人間発達学）	2前	2				○	○	
	精神医学	2前	2				○	○	
	精神医学各論	2後	2				○	○	
	臨床心理学	2後	1					○	○
	リハビリテーション医学 （画像診断・予防・栄養含む）	3前	1				○	○	○
	医療関係法規論	2前		2			○		
	チームリハビリテーション概論	2前	1					○	○
介護学概論・ボランティア活動論	2後		2		○	○	○		
スポーツ医学	3前		1			○			
法学	基礎作業学	1前	2		必修6単位	○			○
	作業科学入門	1前	2			○	○		
	作業療法概論	1後	2			○			
管理栄養学	職場管理(教育を含む)	3後	1		必修2単位	○			
	職業倫理	3後	1			○			
作業療法評価学	作業療法評価学総論	1後	2		必修7単位	○			
	身体障害作業療法評価学	2前	2			○			○
	精神障害作業療法評価学	2後	1			○			○
	発達障害作業療法評価学	2後	1			○			○
	高次脳機能障害作業療法評価学	2後	1			○			○
作業療法	日常生活活動学	1後	2		必修17単位+	○			
	身体障害作業療法治療学総論	3前	2			○		○	○
	精神障害作業療法治療学総論	3前	2			○		○	○
	高齢期障害作業療法治療学総論	3前	2			○		○	○
	発達障害作業療法治療学総論	3前	2			○		○	○
	身体障害作業療法治療学各論	3後	1			○		○	○
	精神障害作業療法治療学各論	3後	1			○		○	○
	高齢期障害作業療法治療学各論	3後	1			○		○	○

■森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部 作業療法学科カリキュラムマップ

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●作業療法学科の方針

作業療法学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（作業療法学）の学位が与えられます。これは作業療法士国家試験受験資格となります。チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場でのチームにおける作業療法の役割を理解し、それぞれの専門職の立場を理解した上で、作業療法実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた作業療法を提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

作業療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々の作業ニーズを見極め、個別の作業ニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④		
			必修	選択							
専 門 科 目 群	治 療 学	発達障害作業療法治療学各論	3後	1		選 択 1 単 位 以 上	○		○	○	
		義肢装具学	2後	1			○			○	
		作業療法特論Ⅰ	4後	1			○			○	
		作業療法特論Ⅱ	4後	1			○			○	
		身体障害作業療法治療学演習	3後		1		○		○	○	
		精神障害作業療法治療学演習	3後		1		○		○	○	
		高齢期障害作業療法治療学演習	3後		1		○		○	○	
		発達障害作業療法治療学演習	3後		1		○		○	○	
	療 法 学	地 域 作 業 学	地域作業療法学	3前	2		4 単 位 必 修	○	○		
			生活環境論	3前	1			○			○
			障害者地域生活支援論	3後	1			○	○	○	○
	総 合 領 域		総合リハビリテーションIPW演習	3前	1		必 修 1 単 位	○	○		○
			高齢期リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
			高齢期リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
			高齢期リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
			小児リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
			小児リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
			小児リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
			精神・心理リハビリテーション概論	2後		1		○	○		○
			精神・心理リハビリテーション演習	3前		1		○	○		○
			精神・心理リハビリテーション特論	3後		1		○	○		○
	卒 業 研 究		卒業研究Ⅰ	3通	2		選 択 2 単 位 以 上	○			○
			卒業研究Ⅱ（身体障害）	4通		2		○			○
			卒業研究Ⅱ（精神障害）	4通		2		○			○
			卒業研究Ⅱ（高齢期障害・地域）	4通		2		○			○
			卒業研究Ⅱ（発達障害）	4通		2		○			○
	臨 床 実 習		臨地見学実習	1前	2		必 修 2 5 単 位	○	○	○	○
臨床検査実習			2後	2		○		○	○	○	
地域作業療法実習			4後	1		○		○	○	○	
臨床評価実習			3通	4		○		○	○	○	
臨床総合実習			4前	16		○		○	○	○	
卒業要件単位数					126						

2024年度入学生対象 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 言語聴覚学科 カリキュラム・マップ（授業科目とディプロマ・ポリシーの対応表）

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●言語聴覚学科の方針

言語聴覚学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（言語聴覚学）の学位が与えられる。これは言語聴覚士国家試験受験資格となる。チーム医療に貢献できる貢献性と科学性を持ちつつ、人に優しい言語聴覚療法を創造的に実践できるように下記の能力を身につけた人材に学位を授与する。

●4つのディプロマ・ポリシー

【DP1】精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける言語聴覚療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができる。

【DP2】チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた言語聴覚療法を提供することができる。

【DP3】豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

【DP4】主体的問題解決能力

言語聴覚療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修18単位＋選択2単位以上	○	○	○	○
		物理学	1後	2		○		○	
		生物学	1前	2		○		○	
		化学	1前	2		○		○	
		情報処理	1前	2		○		○	
		統計学	3前	2		○		○	
	人間理解と社会	心理学	1前	2		○		○	
		生命倫理学	1前	2		○		○	
		哲学	1後	2		○		○	
		社会福祉学	1前	2		○		○	
		日本国憲法	1後	2		○		○	
		東洋史概説	3前	2		○		○	
	語学	英語Ⅰ（初級）	1前	2		○	○		
		英語Ⅱ（中級）	1後	2		○	○		
		英会話	2前	2		○	○		
		医学英語	2後	2		○	○		
		基礎英語演習	2前	2		○	○		
		応用英語演習	2後	2		○	○		
共通科目群	保健医療	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1	○	○	○	○	
		チーム医療見学実習	1前	1	○	○	○	○	
		医療コミュニケーション	2前	1	○	○	○	○	
		チーム医療論	2後	1	○	○	○	○	
		IPW論	3前	1	○	○	○	○	
		基礎体育	1前	2	○	○	○		
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2	○	○	○	○	
		健康管理学Ⅰ	2前	2	○		○	○	
		健康管理学Ⅱ	2後	2	○		○	○	
		栄養学	2後	2	○		○		
		身体運動科学	2後	2	○		○		
		東洋医療概論	2後	2		○	○		
		統合医療概論	3前	2		○	○		

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●言語聴覚学科の方針

言語聴覚学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（言語聴覚学）の学位が与えられる。これは言語聴覚士国家試験受験資格となる。チーム医療に貢献できる貢献性と科学性を持ちつつ、人に優しい言語聴覚療法を創造的に実践できるように下記の能力を身につけた人材に学位を授与する。

●4つのディプロマ・ポリシー

【DP1】精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける言語聴覚療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができる。

【DP2】チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた言語聴覚療法を提供することができる。

【DP3】豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

【DP4】主体的問題解決能力

言語聴覚療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 科 目 群 専 門 基 礎 科 目	ミ シ ョ ン ケ ー コ ー ！ 言 語 と コ ー ！	言語学	1後	2					
		音声学	1後	2					
		音響学（聴覚心理学を含む）	1後	2					
	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 治 療	医学総論	1前	1					
		人体の構造Ⅰ	1前	2					
		人体の構造Ⅱ	1後	2					
		人体の機能Ⅰ	1前	2					
		人体の機能Ⅱ	1後	2					
		病理学	2後	1					
		臨床病態学Ⅰ（形成外科学含む）	2前	1					
		臨床病態学Ⅱ	2後	1					
		臨床病態学Ⅲ（精神・小児・神経含む）	3前	1					
		耳鼻咽喉科学	2後	1	2				
		臨床歯科医学（口腔外科学を含む）	2後	1	2				
		音声・言語・聴覚医学	1前	3					
		言語発達学	1後	1					
		リハビリテーション医学 （画像診断・予防・栄養含む）	3前	2					
	チームリハビリテーション概論	2前	1						
	心 の 働 き	臨床心理学	2前	2					
		学習・認知心理学	2後	2					
心理測定法		2前	1						
発達心理学		2前	2						
シ ョ ン ！ 教 育 と リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	医療関係法規論（社会保障制度・関係法規含む）	2前	1						
	リハビリテーション概論	2後	1						

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●言語聴覚学科の方針

言語聴覚学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（言語聴覚学）の学位が与えられる。これは言語聴覚士国家試験受験資格となる。チーム医療に貢献できる貢献性と科学性を持ちつつ、人に優しい言語聴覚療法を創造的に実践できるように下記の能力を身につけた人材に学位を授与する。

●4つのディプロマ・ポリシー

【DP1】精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける言語聴覚療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができる。

【DP2】チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた言語聴覚療法を提供することができる。

【DP3】豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

【DP4】主体的問題解決能力

言語聴覚療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 科 目 群	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論Ⅰ	1前	1		○			
		言語聴覚障害学概論Ⅱ	1後	1		○			
		言語聴覚障害学セミナー	3後		1		○		
		言語聴覚障害学特論Ⅰ	4後	1		○			
		言語聴覚障害学特論Ⅱ	4後	1		○			
		総合リハビリテーションIPW演習	3前	1		○	○		○
	失語・高次脳機能障害学	失語・高次脳機能障害学概論	2前	2		○			
		失語症学演習	2後	1		○			
		高次脳機能障害学演習	2後	1		○			
		失語・高次脳機能障害学演習Ⅰ	2後	1		○			
		失語・高次脳機能障害学演習Ⅱ	3前	1		○			
		失語・高次脳機能障害学演習Ⅲ	4前	1		○			○
	言語発達障害学	言語発達障害学Ⅰ	2前	2		○			
		言語発達障害学Ⅱ	2前	2		○			
		言語発達障害学演習Ⅰ	2後	1		○			
		言語発達障害学演習Ⅱ	3前	1		○			○
	発声発語・嚥下障害学	発声発語・嚥下障害学Ⅰ	1後	1		○			
		発声発語・嚥下障害学Ⅱ	2前	1		○			
		発声発語・嚥下障害学Ⅲ	2後	2		○			
		音声障害学	2後	1		○			
		吃音学	3前	1		○			
		発声発語・嚥下障害学演習Ⅰ	2前	1		○			
		発声発語・嚥下障害学演習Ⅱ	3前	1		○			
		発声発語・嚥下障害学演習Ⅲ	3後	1		○			○
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ	1後	1		○			
		聴覚障害学Ⅱ	2前	1		○			
		聴覚障害学Ⅲ	2前	1		○			
		聴覚障害学Ⅳ	3前	1		○			
聴覚障害学演習Ⅰ		1後	1		○				
聴覚障害学演習Ⅱ		2前	1		○				
聴覚障害学演習Ⅲ		2後	1		○			○	

必修55単位

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●言語聴覚学科の方針

言語聴覚学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（言語聴覚学）の学位が与えられる。これは言語聴覚士国家試験受験資格となる。チーム医療に貢献できる貢献性と科学性を持ちつつ、人に優しい言語聴覚療法を創造的に実践できるように下記の能力を身につけた人材に学位を授与する。

●4つのディプロマ・ポリシー

【DP1】精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける言語聴覚療法の役割を理解し、それぞれの専門領域において、実践に即した精度の高い知識と専門技術を発揮することができる。

【DP2】チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいた言語聴覚療法を提供することができる。

【DP3】豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

【DP4】主体的問題解決能力

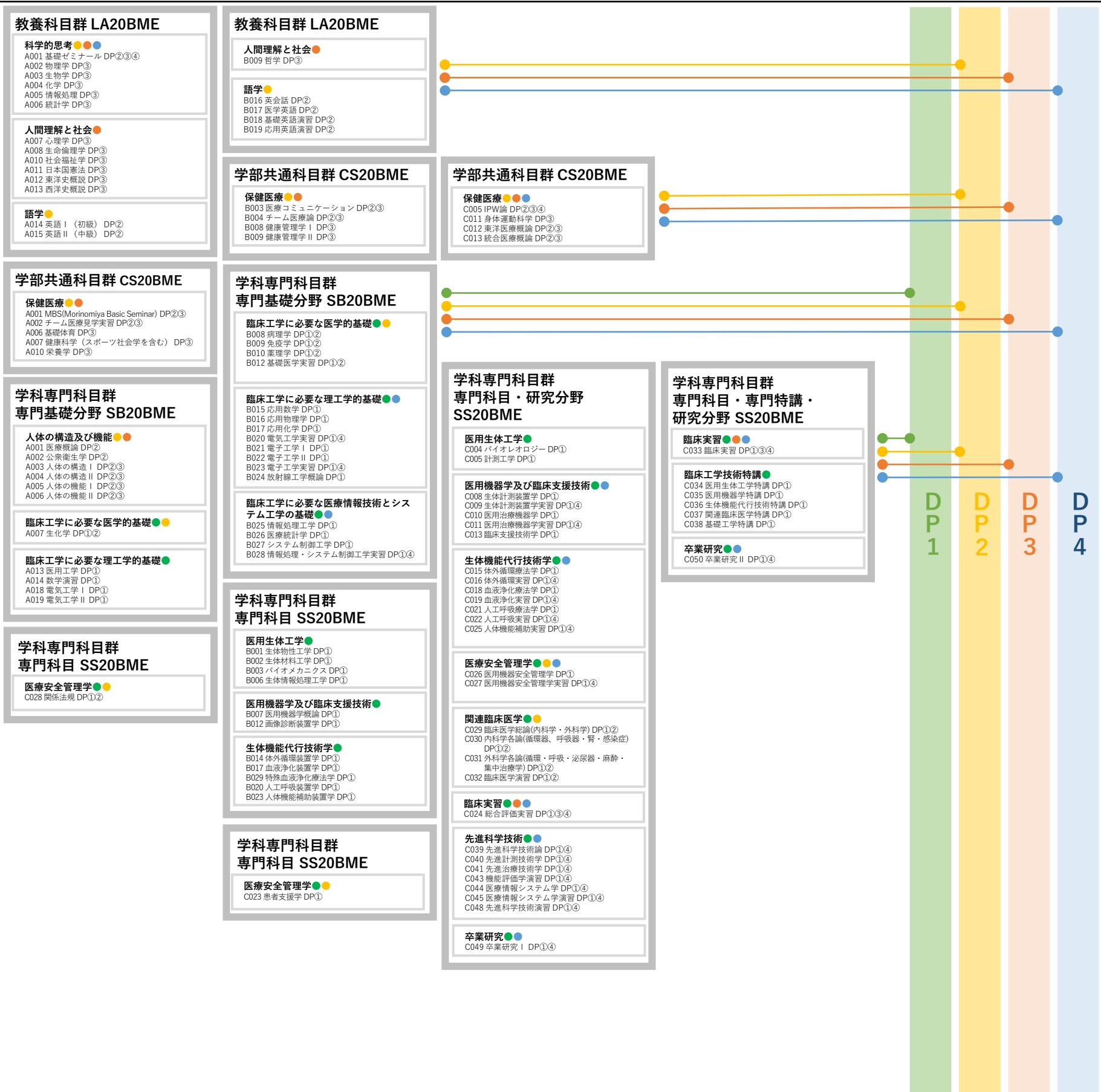
言語聴覚療法が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学 科 専 門 科 目 群	臨床実習	臨床実習基礎セミナー	2前	1		○		○	○	
		臨床実習基礎演習	3前	1		○		○	○	
		臨床実習Ⅰ（見学実習）	2通	2		○		○	○	
		臨床実習Ⅱ（評価実習）	3通	5		○		○	○	
		臨床実習Ⅲ（総合実習）	4前	8		○		○	○	
	総合領域	高齢期リハビリテーション概論	2後		1		○			○
		高齢期リハビリテーション演習	3前		1		○			○
		高齢期リハビリテーション特論	3後		1		○			○
		小児リハビリテーション概論	2後		1		○			○
		小児リハビリテーション演習	3前		1		○			○
		小児リハビリテーション特論	3後		1		○			○
		精神・心理リハビリテーション概論	2後		1		○			○
		精神・心理リハビリテーション演習	3前		1		○			○
		精神・心理リハビリテーション特論	3後		1		○			○
	研 卒 究 業	卒業研究Ⅰ	3通	2			○			○
		卒業研究Ⅱ	4通	2			○			○
	選 択 必 修	言語聴覚療法セミナーⅠ（失語・高次脳機能障害学）	4通		2	選 択 8 単 位 以 上	○			
		言語聴覚療法セミナーⅡ（発声発語・嚥下障害学）	4通		2		○			
		言語聴覚療法セミナーⅢ（言語発達障害学）	4通		2		○			
		言語聴覚療法セミナーⅣ（聴覚障害学）	4通		2		○			
言語聴覚療法セミナーⅤ（拡大・代替コミュニケーション）		4通		1	○					
卒業要件単位数					129					

医療技術学部臨床工学科 カリキュラムマップ (2023年度以降入学生対応)

- 【DP1】 ● 精度の高い専門的知識と専門技術**
 地域社会や医療現場等でのチームにおける臨床工学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で臨床工学技士としての知識力と技術力を発揮することができます。
- 【DP2】 ● チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力**
 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができます。
- 【DP3】 ● 豊かな人間力**
 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。
- 【DP4】 ● 主体的問題解決能力**
 臨床工学技士に相応しい高い専門性と研究能力を備え、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、問題を解決することができます。

1年次	2年次	3年次	4年次	学位授与の方針
-----	-----	-----	-----	---------



■2024年度入学生 医療技術学部診療放射線学科 授業科目とディプロマ・ポリシーの対応表

区分					授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④		
							必修	選択							
<p>ディプロマポリシー (DP：学位授与方針)</p>															
<p>【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】</p> <p>●診療放射線学科 診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（診療放射線学）の学位が与えられる。これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。</p> <p>●4つのディプロマ・ポリシー</p> <p>①精度の高い専門的知識と専門技術 保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。</p> <p>②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。</p> <p>③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。</p> <p>④主体的問題解決能力 診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。</p>															
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修4単位＋選択4単位以上										
		物理学	1前	2											
		生物学	1前	2											
		化学	1前	2											
		情報処理	1前	2											
		統計学	1前	2											
	人間理解と社会	心理学	1前	2											
		生命倫理学	1前	2											
		哲学	2前	2											
		社会福祉学	1後	2											
		日本国憲法	1後	2											
		東洋史概説	2後	2											
	語学	西洋史概説	3前	2											
		英語Ⅰ（初級）	1前	2		選択2単位以上									
		英語Ⅱ（中級）	1後	2											
		英会話	2前	2											
		医学英語	2後	2											
		基礎英語演習	2前	2											
応用英語演習	2後	2													
共通科目群	保健医療	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1	必修5単位＋選択2単位以上										
		チーム医療見学実習	1前	1											
		医療コミュニケーション	2前	1											
		チーム医療論	2後	1											
		IPW論	3前	1											
		基礎体育	1後	1											
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	1前	2											
		健康管理学Ⅰ	2前	2											
		健康管理学Ⅱ	2後	2											
		栄養学	2後	2											
		身体運動科学	2前	2											
		東洋医療概論	3前	2											
		統合医療概論	3前	2											

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●診療放射線学科

診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（診療放射線学）の学位が与えられる。これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

④主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学科専門科目群	基礎科目演習	数学	1後	2		選択2単位以上	○			
		数学演習	1前		1		○			○
		物理学演習	1前		1		○			○
		生物学演習	1前		1		○			○
		化学演習	1前		1		○			○
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1通	1		必修11単位＋選択2単位以上		○		
		公衆衛生学	1後	1				○		
		解剖学演習	1前		1		○			○
		人体の構造Ⅰ	1前	1				○	○	
		人体の構造Ⅱ	1後	1				○	○	
		人体の機能Ⅰ	1前	1				○	○	
		人体の機能Ⅱ	1後	1				○	○	
		生化学	1後	1			○	○		
		病理学	1後	1			○	○		
		臨床医学Ⅰ	2前	1			○	○		
		臨床医学Ⅱ	2後	1			○	○		
		臨床医学Ⅲ	3前		1		○	○		
		薬理学	2後	1			○	○		
	看護学概論	2後		1	○	○				
	保健医療福祉における放射線の科学及び技術的基礎	医用工学演習	1後		1	必修18単位＋選択1単位以上	○			○
		医用工学	1後	2			○			
		ICT序論	1前	1			○			○
		医療統計学	1後		1		○			○
		放射化学	1前	2			○			
		放射線生物学	1前	2			○			
		放射線化学・生物学演習	1後		1		○			○
		放射線物理学序論	1前	2			○			
		放射線物理学	1後	2			○			
		放射線計測学Ⅰ	1後	2			○			
		放射線計測学Ⅱ	2前	2			○			
		放射線概論	1前	1			○			
		専門基礎科目実験	2前	2			○			○
		診療画像技術学	X線撮影技術学Ⅰ	2前	2			放射線技術学	○	○
X線撮影技術学Ⅱ	2後		2		○	○				
X線機器工学	2前		2		○					
放射線撮影技術学（US・眼低）	2後		2		○	○				
X線CT技術学（機器・検査）	2後		2		○	○				
MRI撮像技術学Ⅰ（機器・検査）	3前		2		○	○				

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●診療放射線学科

診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（診療放射線学）の学位が与えられる。
これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人により豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

④主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専 門 科 目	臨床画像学	MRI撮像技術学Ⅱ（検査）	3後	1		○	○		
		放射線技術学実習Ⅰ（撮影系）	2後	1		○	○		
		放射線技術学実習Ⅲ（検査系）	3前	1		○	○		
		画像解剖学Ⅰ（単純X線画像）	2前	1		○	○		
		画像解剖学Ⅱ（造影X線画像）	2後	1		○	○		
		画像解剖学Ⅲ（各種断層画像）	3前	2		○	○		
	核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2後	2		○			
		核医学検査技術学Ⅱ	3前	2		○			
		核医学機器工学	2前	1		○			
		放射線技術学実習Ⅳ（核医学系）	3前	1		○			○
	放射線治療	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2		○			
		放射線治療技術学Ⅱ	3前	2		○			
		放射線治療機器工学	2前	1		○			
		放射線腫瘍学	3前	1		○			
		放射線技術学実習Ⅴ（治療系）	3後	1		○			○
	医療画像情報学	画像工学	2前	1		○			
		医療画像情報学序論	1後	1		○			
		医療情報学	3前	1		○			
		医療画像情報学	2前	2		○			
		放射線技術学実習Ⅵ（画像解析系）	3後	1		○			○
	放射線安全管理	放射線安全管理学	2前	2		○			
		放射線関係法規	3後	1		○	○		
		放射線技術学実習Ⅱ（安全管理系）	2後	1		○			○
	全学管理安	医療安全管理学	3前	2		○	○		
	実践臨床画像学	臨床画像学演習	3後	1		○			○
		臨床画像解析学	3後	1		○			○
臨床実習	臨床実習Ⅰ	3前	2		○	○	○	○	
	臨床実習Ⅱ	3後	4		○	○	○	○	
	臨床実習Ⅲ	3後	4		○	○	○	○	
	臨床実習ゼミナールⅠ	3前	1		○	○	○	○	
	臨床実習ゼミナールⅡ	3後	1		○	○	○	○	

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●診療放射線学科

診療放射線学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得したものに卒業が認定され、学士（診療放射線学）の学位が与えられる。これは診療放射線技師国家試験受験資格となります。チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

保健・医療・福祉の現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者様・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

④主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、放射線に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学 科 専 門 科 目 群 専 門 特 講 研 究 分 野	診療放射線 技術特講	診療放射線技術総論	4前	1	必修 5 単 位	○			○	
		診療放射線学総合演習Ⅰ	4後	2		○			○	
		診療放射線学総合演習Ⅱ	4後	2		○			○	
	学 先 技 進 術 科	先進医療技術Ⅰ	4前		2	選 択 2 単 位 以 上 + 必 修 4 単 位	○		○	
		先進医療技術Ⅱ	4前		2		○		○	
	研 卒 業	研究法入門	3前	1			○			○
卒業研究Ⅰ		3後	1		○				○	
卒業研究Ⅱ		4通	2		○				○	
卒業要件単位数					126					

医療技術学部鍼灸学科(鍼灸コース) カリキュラムマップ (2022年度以降入学生対応)

- 【DP1】 ● 精度の高い専門的知識と専門技術**
 地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修したものは学校教育現場において、医療知識と技術を活かした指導ができるようになります。
- 【DP2】 ● チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力**
 地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。
- 【DP3】 ● 豊かな人間力**
 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。
- 【DP4】 ● 主体的問題解決能力**
 はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探究的に取り組み、問題を解決できるようになります。スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

1年次	2年次	3年次	4年次	学位授与の方針
-----	-----	-----	-----	---------

教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ●●● A001基礎ゼミナール DP②③④ A002物理学 DP③ A003生物学 DP③ A004化学 DP③ 人間理解と社会 ● A009哲学 DP③ A013日本国憲法 DP③ 語学 ● A014英語Ⅰ(初級) DP② A015英語Ⅱ(中級) DP②	教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ● B005情報処理 DP③ 人間理解と社会 ● B007心理学 DP③ B008生命倫理学 DP③ 語学 ● B016英会話 DP② B018基礎英語演習 DP② B019応用英語演習 DP②	教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ● C006統計学 DP③ 人間理解と社会 ● C010社会福祉学 DP③ C011東洋史概説 DP③ C012西洋史概説 DP③ 語学 ● C017医学英語 DP②		学位授与の方針 DP1 DP2 DP3 DP4
学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● A001MBS(Morinomiya Basic Seminar) DP②③ A002チーム医療見学実習 DP②③ A006基礎体育 DP③ A007健康科学(スポーツ社会学を含む) DP③ A012東洋医療概論 DP②③	学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● B003医療コミュニケーション DP②③ B004チーム医療論 DP②③ B008健康管理学Ⅰ DP③ B009健康管理学Ⅱ DP③ B010栄養学 DP③ B011身体運動科学 DP③	学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● C005IPW論 DP②③④ C013統合医療概論 DP③		
学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 人体の構造と機能 ●●● A001解剖学Ⅰ(骨・筋) DP②③ A002解剖学Ⅱ(神経) DP②③ A003解剖学Ⅲ(内臓・脈管) DP②③ A004生理学Ⅰ(動物生理学) DP②③ A005生理学Ⅱ(植物生理学) DP②③ A006生理学Ⅲ(応用生理学) DP②③	学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 人体の構造と機能 ●●● B007運動学 DP①③ B008生化学 DP③ 疾病の成り立ちと回復の促進 ● B009病理学 DP② B010臨床医学総論(症候学) DP② B011整形外科学 DP② B012内科学 DP②	学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進 ●●● C013臨床医学各論Ⅰ(脳神経外科・神経内科・診療内科) DP② C014臨床医学各論Ⅱ(外科学・麻酔科学・小児科・産婦人科) DP② C015臨床医学各論Ⅲ(感覚器) DP② C016スポーツ医学 DP①②③ C017リハビリテーション医学 DP①② C018画像診断学 DP②③ 保健医療福祉とはり及びきゅうの理念 ● C019衛生学公衆衛生学 DP①		
学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ● A001経絡経穴Ⅰ DP① A002経絡経穴Ⅱ DP① A007東洋医学概論Ⅰ DP① A008東洋医学概論Ⅱ DP① 実習 ● A023基礎鍼灸Ⅰ DP① A024基礎鍼灸Ⅱ DP① A025基礎鍼灸Ⅲ DP① A026基礎鍼灸Ⅳ DP① 総合領域 ●●● A040キャリアデザイン DP②③④	学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ● B003経穴局所解剖演習Ⅰ DP① B004経穴局所解剖演習Ⅱ DP① B005鍼灸科学概論Ⅰ DP① B009東洋医学概論Ⅲ DP① 臨床はりきゅう学 ● B011臨床生理学 DP① B014運動機能検査法 DP① B015現代医学系鍼灸学Ⅰ(整形外科系) DP① B018東洋医学系検査法 DP① B019東洋医学各論Ⅰ DP① 実習 ●●● B027応用鍼灸実技Ⅰ(特殊鍼法) DP① B028応用鍼灸実技Ⅱ(ロールプレイ・施術所見学) DP① B029現代医学系鍼灸学実習Ⅰ DP①④ B032東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ DP①④ 総合領域 ●●● B046学外見学実習Ⅰ DP①③④ 専門領域 ● B048美容鍼灸学総論 DP① B049テーピング技術論 DP① B050コンディショニング技術論 DP①	学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ●●● C006鍼灸科学概論Ⅱ DP①② 臨床はりきゅう学 ●●● C010鍼灸安全学(はき通応を含む) DP①③ C012臨床鍼灸学(OSCE対策演習) DP①③ C013生体観察 DP①③ C016現代医学系鍼灸学Ⅱ(整形外科系) DP①③ C017現代医学系鍼灸学Ⅲ(内科系) DP①③ C020東洋医学各論Ⅱ DP①③ 実習 ●●● C030現代医学系鍼灸学実習Ⅱ DP①③④ C031現代医学系鍼灸学実習Ⅲ DP①③④ C033東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ DP①③④ C034東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ DP①③④ C036臨床灸実習 DP①③④ 臨床実習 ●●● C038附属施設所基礎実習 DP①②③④ 総合領域 ●●● C044卒業研究Ⅰ DP①④ 専門領域 ●●● C051スポーツ鍼灸学総論 DP①④ C052スポーツ鍼灸学各論 DP①④ C053介護学概論 DP①④ C054老年ケア演習 DP①④ C055美容鍼灸学各論Ⅰ DP①④ C056美容鍼灸学各論Ⅱ DP①④		
学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 社会はりきゅう学 ● C021鍼灸経営論 DP① C022関係法規 DP① 実習 ● C035応用鍼灸治療学 DP① C037特殊鍼灸治療学(刺絡・通電等) DP① 臨床実習 ●●● C039附属施設所応用実習 DP①②③④ 総合領域 ●●● C041鍼灸総合演習Ⅰ DP① C042鍼灸総合演習Ⅱ DP① C043鍼灸総合演習Ⅲ DP① C045卒業研究Ⅱ DP①④ C047学外見学実習Ⅱ DP①④ 専門領域 ● C057応用鍼灸学Ⅰ(物療・リハビリ) DP① C058応用鍼灸学Ⅱ(小児・婦人) DP① C059スポーツ経営学 DP①				

医療技術学部鍼灸学科(スポーツ特修コース) カリキュラムマップ (2022年度以降入学生対応)

- 【DP1】 ● 精度の高い専門的知識と専門技術**
 地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになります。
- 【DP2】 ● チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力**
 地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。
- 【DP3】 ● 豊かな人間力**
 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。
- 【DP4】 ● 主体的問題解決能力**
 はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

1年次	2年次	3年次	4年次	学位授与の方針
-----	-----	-----	-----	---------

教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ●●● A001 基礎ゼミナール DP②③④ A002 物理学 DP③ A003 生物学 DP③ A004 化学 DP③ 人間理解と社会 ● A009 哲学 DP③ A013 日本国憲法 DP③ 語学 ● A014 英語Ⅰ(初級) DP② A015 英語Ⅱ(中級) DP②	教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ● B005 情報処理 DP③ 人間理解と社会 ● B007 心理学 DP③ B008 生命倫理学 DP③ 語学 ● B016 英会話 DP② B018 基礎英語演習 DP② B019 応用英語演習 DP②	教養科目群 LA20BAC 科学的思考 ● C006 統計学 DP③ 人間理解と社会 ● C010 社会福祉学 DP③ C011 東洋史概説 DP③ C012 西洋史概説 DP③ 語学 ● C017 医学英語 DP②	●●● ●●● ●●●	●●● ●●● ●●●
学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● A001 MBS(Morinomiya Basic Seminar) DP②③ A002 チーム医療見学実習 DP②③ A006 基礎体育 DP③ A007 健康科学(スポーツ社会学を含む) DP③ A012 東洋医療概論 DP②③	学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● B003 医療コミュニケーション DP②③ B004 チーム医療論 DP②③ B008 健康管理学Ⅰ DP③ B009 健康管理学Ⅱ DP③ B010 栄養学 DP③ B011 身体運動科学 DP③	学部共通科目群 CS20BAC 保健医療 ●●● C005 IPW論 DP②③④ C013 統合医療概論 DP③	●●● ●●● ●●●	●●● ●●● ●●●
学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 人体の構造と機能 ●●● A001 解剖学Ⅰ(骨・筋) DP②③ A002 解剖学Ⅱ(神経) DP②③ A003 解剖学Ⅲ(内臓・脈管) DP②③ A004 生理学Ⅰ(動物生理学) DP②③ A005 生理学Ⅱ(植物生理学) DP②③ A006 生理学Ⅲ(応用生理学) DP②③	学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 人体の構造と機能 ●●● B007 運動学 DP①③ B008 生化学 DP③ 疾病の成り立ちと回復の促進 ● B009 病理学 DP② B010 臨床医学総論(症候学) DP② B011 整形外科学 DP② B012 内科学 DP②	学科専門科目群 専門基礎分野 SB20BAC 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進 ●●● C013 臨床医学各論Ⅰ(脳神経外科・神経内科・診療内科) DP② C014 臨床医学各論Ⅱ(外科学・麻酔科学・小児科・産婦人科) DP② C015 臨床医学各論Ⅲ(感覚器) DP② C016 スポーツ医学 DP①②③ C017 リハビリテーション医学 DP①② C018 画像診断学 DP②③ 保健医療福祉とはり及びきゅうの理念 ● C019 衛生学公衆衛生学 DP①	学科専門科目群 専門基礎分野 SB20AC 保健医療福祉とはり及びきゅうの理念 ● C020 保健医療倫理(社会保障・職業倫理含む) DP③	●●● ●●● ●●●
学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ● A001 経絡経穴学Ⅰ DP① A002 経絡経穴学Ⅱ DP① A007 東洋医学概論Ⅰ DP① A008 東洋医学概論Ⅱ DP① 実習 ● A023 基礎鍼灸Ⅰ DP① A024 基礎鍼灸Ⅱ DP① A025 基礎鍼灸Ⅲ DP① A026 基礎鍼灸Ⅳ DP① 総合領域 ●●● A040 キャリアデザイン DP②③④ 保健体育 ●●● A062 スポーツ実習Ⅰ 体づくり運動 DP① A066 スポーツ実習Ⅲ 陸上競技 DP①③ A068 スポーツ実習Ⅴ ダンス DP①③ A074 ホーグ 科学演習Ⅰ(ジ スカッパグⅠ) DP①③ A075 ホーグ 科学演習Ⅱ(アピ ヴァス・カキグ・ジョキウ) DP①③ A078 体カトレーニング論 DP①	学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ● B003 経穴局所解剖演習Ⅰ DP① B004 経穴局所解剖演習Ⅱ DP① B005 鍼灸科学概論Ⅰ DP① B009 東洋医学概論Ⅲ DP① 臨床はりきゅう学 ● B011 臨床生理学 DP① B014 運動機能検査法 DP① B015 現代医学系鍼灸学Ⅰ(整形外科系) DP① B018 東洋医学系検査法 DP① B019 東洋医学各論Ⅰ DP① 実習 ●● B027 応用鍼灸実技Ⅰ(特殊鍼法) DP① B028 応用鍼灸実技Ⅱ(ロールプレイ・施術見学) DP① B029 現代医学系鍼灸学実習Ⅰ DP①④ B032 東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ DP①④ 総合領域 ●●● B046 学外見学実習Ⅰ DP①③④ 保健体育 ●●● B069 スポーツ実習Ⅵ 器械運動 DP①③ B070 スポーツ実習Ⅶ 水泳 DP①④ B071 スポーツ実習Ⅷ 生進スポーツ DP① B076 ホーグ 科学演習Ⅲ(ジ スカッパグⅡ・水中運動) DP①③ B049 テーピング技術論 DP① B079 スポーツバイオメカニクス DP①	学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 基礎はりきゅう学 ● C006 鍼灸科学概論Ⅱ DP① 臨床はりきゅう学 ● C010 鍼灸安全学(はき適応を含む) DP① C012 臨床鍼灸学(OSCE対策演習) DP① C013 生体観察 DP① C016 現代医学系鍼灸学Ⅱ(整形外科系) DP① C017 現代医学系鍼灸学Ⅲ(内科系) DP① C020 東洋医学各論Ⅱ DP① 実習 ●●● C030 現代医学系鍼灸学実習Ⅱ DP①④ C031 現代医学系鍼灸学実習Ⅲ DP①④ C033 東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ DP①④ C034 東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ DP①④ C036 臨床実習 DP①④ 臨床実習 ●● C038 附属施設所基礎実習 DP①④ 総合領域 ●●● C060 運動生理学 DP① C061 運動生理機能学演習 DP① C044 卒業研究Ⅰ DP①④ 保健体育 ●●● C063 スポーツ実習Ⅷ 球技 A DP①③④ C064 スポーツ実習Ⅷ 球技 B DP①③④ C065 スポーツ実習Ⅷ 球技 C DP①③④ C067 スポーツ実習Ⅷ 柔道 DP①③④ C072 学校保健(小児保健・精神保健) DP①③④ C073 学校保健(学校安全・救急処置) DP①③④ C077 ホーグ 科学演習Ⅳ(指導) DP①③④ C053 介護学概論 DP①③④ C054 老年ケア演習 DP①③④ C080 体育原理 DP①③④ C081 スポーツ心理学 DP①③④ C051 スポーツ鍼灸学総論 DP①③④ C052 スポーツ鍼灸学各論 DP①③④	学科専門科目群 専門分野 SS20BAC 社会はりきゅう学 ● C021 鍼灸経営論 DP① C022 関係法規 DP① 実習 ● C035 応用鍼灸治療学 DP① C037 特殊鍼灸治療学(刺絡・通電等) DP① 臨床実習 ●●●● C039 附属施設所応用実習 DP①②③④ 総合領域 ●●● C041 鍼灸総合演習Ⅰ DP① C042 鍼灸総合演習Ⅱ DP① C043 鍼灸総合演習Ⅲ DP① C045 卒業研究Ⅱ DP①④ C047 学外見学実習Ⅱ DP①④ 保健体育 ● C082 スポーツ傷害学・栄養学 DP① C059 スポーツ経営学 DP①	●●● ●●● ●●● ●●●
DP1 DP2 DP3 DP4				